十日十夜会
～じゅうにちじゅうやえ

法蔵寺では、古くから十一月に**「十日十夜会」**が行われます。「じゅうにち・じゅうやえ」と読みます。

縮めて「十日十夜」とか、単に「十夜」ともいいます。丁寧に**「お十夜」**と言ったりもします。では「お十夜」って？

「お十夜」って？

十五夜は聞いたことあるけど「十夜」は・・・という方もいらっしゃることでしょう。

「十夜」は、お念仏を集中的にお唱えする仏教行事です。

古くは天皇様のお許し（勅許・ちょっきょ）により行われました。法蔵寺は南朝新田家ゆかりの寺ですので「赤門」と共に古くからお勤めすることを許されました。

「収穫祭」を兼ねる

法蔵寺周辺では、秋の作物の収穫の時期に重なることから「収穫祭」を兼ねた行事として伝わっています。

▼法蔵寺十日十夜会

十一月五日夜～十五日朝

▼十夜大法要

十一月九日（日）十三時～

※参詣者参加による無病息災祈願の**「大念珠繰り」**があります。ぜひご参加下さい。

▼新米奉納・十夜志納

お札受け渡し（受付）

境内の特設テントにて受付して下さい。（十二時～）

新米奉納・十夜志納の後、「十夜お札」「お供物」をお受け下さい。

※お世話人様による取りまとめ分は、当日以前でも大丈夫です。直接寺務所玄関までお持ち下さい。

奉納米は「お仏飯」となります

皆様に奉納頂いた作物は無駄なく使用させて頂いています。

特に奉納米は、年間を通して仏様に**「お仏飯（ぶっぱん）」**としてお供えします。

多くの方の心のこもった作物です。きっと仏様も喜んでいることと思います。

仏様は湯気を好みます。

位牌堂への位牌安置希望を募ります

法蔵寺の本堂には**「位牌堂（いはいどう）」**があります。

ここには現在の本堂建設時（昭和五十六年）に、法蔵寺の檀家または信者の方の位牌が安置されています。毎日朝晩の勤行（ごんぎょう）や季節行事の際に、懇ろに「香」を手向け、供養しています。

東日本大震災で位牌堂は総崩れになりましたが、復元したところ、まだ位牌を安置できるようになりました。そこで、本堂建築以降に、法蔵寺にご縁を結んだ方々を中心に、位牌安置を希望する方を募集します。回向料はかかりません。位牌の製作代のみでお受けします。希望の方は法蔵寺までご連絡下さい。

位牌堂安置位牌　一基二万円

※施主名と先祖代々を印し、安置します。